

平成 25 年度大学図書館職員短期研修（京都：10 月 2 日、東京：11 月 6 日）

目録の現在と未来

小山憲司（日本大学文理学部）

はじめに

- ・ 図書館目録を取り巻く環境
- ・ 目録業務の現状

1. 情報の発見手段としての図書館目録

1.1 図書館目録の基本機能

- ・ 識別機能
- ・ 集中機能

1.2 （伝統的な）図書館目録の限界

(1) 探索情報の範囲

- ・ 紙媒体と電子情報資源
- ・ 所蔵とアクセス
- ・ 蔵書目録、総合目録、ウェブ・スケール...

(2) 探索情報の粒度

2. 情報の発見環境の拡張

(1) リンク・リゾルバ

(2) ディスカバリー・サービス

3. 図書館は、整理業務をしなくてもよくなる？

- ・ 図書館は、なにを整理の対象とするのか？
- ・ 図書館は、どのような情報を作成、発信するのか（できるのか）？

4. 情報の発見と表現方法

4.1 図書館目録をめぐる動向

- ・ FRBR、FRAD、FRSAD
- ・ ICP
- ・ ISBD
- ・ RDA

4.2 実体関連モデルによる情報表現

4.3 メタデータ・フォーマットにかかる話題

- ・ MARC21
- ・ BIBFRAME
- ・ PREMIS
- ・ METS

5. ウェブ世界におけるデータ流通・公開を目指して

5.1 Linked (Open) Data

(1) Linked Data の 4 原則

(2) RDF と RDF/XML

5.2 Linked Data による図書館由来の情報資源の公開

(1) 目録

- ・ 英国 (BL)、ドイツ (DNB) など、各国の国立図書館目録
- ・ WorldCat (OCLC)
- ・ Europeana

(2) 分類体系

- ・ DDC
- ・ UDC

(3) 典拠ファイルなど

- ・ LCSH
- ・ Web NDL Authorities
- ・ VIAF

6. 今後の課題（の例示）

6.1 今後の学術情報システム

「電子的学術情報資源を中心とする新たな基盤構築に向けた構想」（2012 年 3 月、国立情報学研究所学術コンテンツ運営・連携本部図書館連携作業部会）

- (1) 電子情報資源の確保
- (2) メタデータのオープン化と相互接続性（相互運用性）の確保
- (3) 統合的発見環境とシステム基盤

6.2 学内研究成果物の収集、保存、発信

- ・ 機関リポジトリ
- ・ 研究データ・サービス

6.3 図書館サービスの利便性向上とマーケティング

- ・ ログデータの分析等による現状の把握、分析、および情報発信
- ・ それに基づいた新しいサービスの開発

おわりに：利用者中心のサービスを目指して

- ・ 情報の発見をいかに支援できるか
- ・ 発見した情報へのアクセスをいかに支援できるか

■ 参考文献

(全般)

- ・ 根本彰, 岸田和明編. 情報資源の組織化と提供. 東京大学出版会, 2013, 198p. (シリーズ図書館情報学, 2)

(2 章関係)

- ・ 飯野勝則. ウェブスケールディスカバリの衝撃. カレントアウェアネス. 2012, (312), CA1772. <http://current.ndl.go.jp/ca1772>, (参照 2013-09-08) .
- ・ 飯野勝則. 佛教大学図書館における Summon の導入：ディスカバリーサービスとシステム連携. 情報の科学と技術. 2011, 61(9), p.355-360.
- ・ 国立情報学研究所. 次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業：ERDB. <http://www.nii.ac.jp/content/erdb/>, (参照 2013-09-08) .
- ・ 小山憲司. 利用者要求にもとづくコレクション構築：大学図書館における電子書籍を対象とした PDA を中心に. カレントアウェアネス. 2012, (313), CA1777. <http://current.ndl.go.jp/ca1777>, (参照 2013-09-08) .
- ・ 宇陀則彦. ディスカバリーサービスに関する少し長いつぶやき. ティジタル図書館. 2012, (43). http://www.dl.slis.tsukuba.ac.jp/DLjournal/No_43/2-uda/2-uda.pdf, (参照 2013-09-08) .
- ・ 渡邊英理子, 香川朋子. 図書館におけるナレッジベース活用の拡がり と KBART の役割. カレントアウェアネス. 2012, (314), CA1784. <http://current.ndl.go.jp/ca1784>, (参照 2013-09-08) .

(3 章関係)

- ・ Malpas, Constance. "Scarcity and Abundance: the Cooperative Imperative in Special Collections," 53rd Annual RBMS Preconference, 20 June 2012. <http://www.oclc.org/content/dam/research/events/2012-06-19c.pptx>, [accessed 2013-09-08].

(4 章関係)

- 大学図書館支援機構. 当機構の RDA に関する活動履歴. <http://www.iaal.jp/rda/>, (参照 2013-09-08) .
- 国立国会図書館. 目録に関する国際的な動向.
<http://www.ndl.go.jp/jp/library/data/kokusai.html>, (参照 2013-09-08) .
- 栗山正光. 各国・国際レベルでのメタデータに関する取り組み. 情報の科学と技術. 2010, 60(12), p.489-494.
- 谷口祥一. メタデータの現在：最近のトピック，ダブリンコア，そしてセマンティック Web. 情報の科学と技術. 2010, 60(12), p.482-488.
- 谷口祥一著. メタデータの「現在」：情報組織化の新たな展開. 勉誠出版, 2010, 154p. (ネットワーク時代の図書館情報学)
- バーバラ・B・ティレット；大柴忠彦，山崎幹子訳. 『RDA』：図書館をセマンティック・ウェブに適したものに. カレントアウェアネス. 2012, (311), CA1767. <http://current.ndl.go.jp/ca1767>, (参照 2013-09-08) .
- 渡邊隆弘. 整理技術と書誌情報. 図書館年鑑. 2013 年版. 日本図書館協会, 2013, p.117-119. ほかに各年版を参照
- 渡邊隆弘. ウェブ時代の新しい書誌データモデル “BIBFRAME”. カレントアウェアネス-E. 2013, (230), E1386. <http://current.ndl.go.jp/e1386>, (参照 2013-09-08) .
- 渡邊隆弘. 図書館目録をめぐる動向：2007-2012. 情報環境の変化に適切に対応する目録規則の在り方に関する研究：研究成果報告書：科学研究費基盤研究 (C) 課題番号：22500223. 渡邊隆弘編. p.106-129.
<http://www.tezuka-gu.ac.jp/public/libsci/kaken2010-report/overview2007-2012.pdf>, (参照 2013-09-08) .

(5 章関係)

- 国立国会図書館. 電子情報の標準に関する翻訳.
<http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/standards/translation.html>, (参照 2013-09-08) .
- トム・ヒース，クリスチャン・バイツァー著；武田英明 [ほか] 訳. Linked Data : Web をグローバルなデータ空間にする仕組み. 近代科学社, 2013, 139p.
- 特集：典拠・識別子の可能性：ウェブ・オントロジーとの関わりの中で. 情報の科学と技術. 2011, 61(11), p.433-464.

(6 章関係)

- 国立情報学研究所学術コンテンツ運営・連携本部図書館連携作業部会. 電子的学術情報資源を中心とする新たな基盤構築に向けた構想：学術コンテンツ運営・連携本部図書館連携作業部会報告書. 2012.
http://www.nii.ac.jp/content/archive/pdf/content_report_h23_with_glossary.pdf, (参照 2013-09-08) .
- 野末俊比古. 評価データとしての「ログ」活用の可能性：大学図書館における情報リテラシー教育を中心に. 情報の科学と技術. 2013, 63(2), p.46-50.
- 佐藤翔. 電子リソースのアクセスログ分析. 情報の科学と技術. 2013, 63(2), p.51-56.
- 佐藤義則. e-Science と大学図書館：研究データサービスへの対応. 情報の科学と技術. 2013, 63(9), p.377-384.

(おわりに関係)

- Dempsey, Lorcan. "4 Things About Discovery," ALA 2013 Annual Conference, 27 June-2 July 2013.
<http://www.oclc.org/content/dam/research/presentations/dempsey/ala-bigheads2013.pptx>, [accessed 2013-09-08].